



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月29日

上場会社名 大正製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4535 URL <http://www.taisho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 坪井 正樹 (TEL) 03-3985-1111
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	64,265	△0.5	10,851	△9.0	12,558	△2.9	8,052	4.5
23年3月期第1四半期	64,557	1.6	11,923	90.6	12,930	82.8	7,708	115.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 8,827百万円 (50.4%) 23年3月期第1四半期 5,869百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	29	20	—	—
23年3月期第1四半期	27	41	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第1四半期	619,583		539,696		85.4	
23年3月期	618,434		535,231		84.8	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 528,963百万円 23年3月期 524,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	12	00	—	—	15	00	27	00
24年3月期	—	—								
24年3月期(予想)			12	00	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 24年3月期期末の配当予想は未定とさせていただきます。なお、24年3月期の配当予想につきましては、次ページの「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	136,500	2.6	21,000	△14.8	23,500	△12.4	14,000	△13.7	50	76
通期	274,000	2.0	39,500	△10.4	45,500	△15.9	28,000	△19.8	101	52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	300,465,510株	23年3月期	300,465,510株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	24,669,722株	23年3月期	24,664,356株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	275,797,660株	23年3月期1Q	281,242,093株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(24年3月期の配当予想について)

24年3月期第2四半期の配当(予想)は大正製薬株式会社を実施し、24年3月期の期末配当は大正製薬ホールディングス株式会社で実施する予定ですが、当該期末配当予想については、株式移転効力発生日である平成23年10月3日(予定)以降、速やかにお知らせ致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業分野の中心であるOTC医薬品市場は、例年よりも花粉飛散量が多かったことから鼻炎治療剤等のアレルギー関連商品が順調でしたが、ドリンク剤、総合感冒薬等の伸び悩みで、総じて低調に推移しました。

医薬事業分野につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなか、世界的な承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策の浸透など、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社のセルフメディケーション事業部門は、情報提供と店頭販促をより一層強化するとともに、生活習慣病などの成長領域に積極的に取り組み、市場の拡大と活性化に努めております。また、医薬事業部門も、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発研究のスピードアップに努めております。

このような事業活動により、当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、642億6千5百万円余（前年同四半期比△2億9千1百万円余、0.5%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

事業部門別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	398億円余	(△ 0億円余	0.2%減)
内訳			
一般用医薬品等	361億円余	(△ 0億円余	0.1%減)
特保・食品等	32 〃	(+ 1 〃	4.9%増)
その他	4 〃	(△ 1 〃	28.8%減)
医薬事業	244億円余	(△ 2億円余	0.9%減)
内訳			
医療用医薬品	221億円余	(△ 6億円余	2.9%減)
中間製品等	21 〃	(+ 4 〃	23.6%増)
工業所有権等使用料収益	0.4 〃	(+0.2 〃	95.7%増)

両事業部門主要製品の売り上げ状況は次のとおりです。

<セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、398億円余（△0億円余、0.2%減）となりました。

ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、生活者の低カロリー志向に対応した「リポビタンファイン」や、「リポビタンゴールドN」などが順調に伸長したものの、主力の「リポビタンD」が前年を下回り、シリーズ全体では、181億円余（1.7%減）となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、主力の総合感冒薬が前年を下回ったものの、例年よりも花粉飛散量が多かったことで鼻炎関連商品が伸長し、シリーズ全体では46億円余（2.3%増）となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、前年度4月のガイドライン報道による伸長の反動から、主力の「リアップX5」が前年比でマイナスとなり、シリーズ全体でも35億円余（2.8%減）と減少しました。

その他のブランドでは、ミニドリンク剤の「ゼナシリーズ」は7億円余（4.6%減）、「胃腸薬シリーズ」は9億円余（1.5%減）、「コーラックシリーズ」は9億円余（1.8%減）「ナロンシリーズ」は8億円余（15.9%減）と前年を下回りました。

特保・食品等の「リビタシリーズ」は、グルコケア粉末スティック等の粉末シリーズが今年度も引き続き好調で、9億円余（13.6%増）となりました。

<医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、244億円余（△2億円余、0.9%減）となりました。

主力品のマクロライド系抗菌薬「クラリス」は47億円余（11.7%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は23億円余（10.2%減）と前年比マイナスとなりましたが、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」は39億円余（14.5%増）、ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」は10億円余（11.1%増）と、堅調に推移しました。また、本年4月に発売した骨粗鬆症治療剤「エディロール」は5億円余となりました。

その他の製品では、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」は8億円余（11.3%減）、非ステロイド性消炎鎮痛剤「ロルカム」は8億円余（7.9%減）、注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」は7億円余（19.7%減）、セフェム系抗菌薬「トミロン」は5億円余（15.1%減）と減少しました。

中間製品等の売上高は21億円余（23.6%増）となりました。

工業所有権等使用料収益は、0.4億円余（95.7%増）となりました。

コスト面につきましては、販売促進費、研究開発費の増加により、販売費及び一般管理費が前年よりも増加し、営業利益は108億5千1百万円余（9.0%減）、経常利益は125億5千8百万円余（2.9%減）となりました。一方、前期末に計上した東日本大震災に係る災害損失引当金の一部を戻し入れ、特別利益を計上したことなどから、四半期純利益は80億5千2百万円余（4.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億円余増加し、6,195億円余となりました。繰延税金資産が短期・長期合わせて23億円余減少したものの、現金及び預金が15億円余、たな卸資産が合計で25億円余増加しました。

負債は前連結会計年度末に比べ33億円余減少し、798億円余となりました。未払費用は59億円余増加しましたが、未払金21億円余、未払法人税等53億円余、賞与引当金29億円余が減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ44億円余増加し、5,396億円余となりました。四半期純利益80億円余が主な増加要因であり、剰余金の配当41億円余が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,422	134,955
受取手形及び売掛金	65,171	65,309
有価証券	—	3,528
商品及び製品	12,669	14,639
仕掛品	2,489	2,071
原材料及び貯蔵品	7,882	8,904
繰延税金資産	8,094	6,554
その他	3,752	5,723
貸倒引当金	△311	△137
流動資産合計	233,170	241,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,604	44,123
機械装置及び運搬具（純額）	7,415	6,990
土地	32,508	32,488
建設仮勘定	2,396	2,477
その他（純額）	3,325	3,130
有形固定資産合計	90,249	89,209
無形固定資産		
のれん	13,397	13,215
販売権	10,067	9,771
営業権	3	0
商標権	3,186	2,932
ソフトウェア	3,363	3,137
その他	369	368
無形固定資産合計	30,386	29,426
投資その他の資産		
投資有価証券	198,390	194,146
関係会社株式	50,351	49,910
長期前払費用	998	984
繰延税金資産	10,729	9,916
その他	4,355	4,642
貸倒引当金	△198	△201
投資その他の資産合計	264,626	259,399
固定資産合計	385,263	378,034
資産合計	618,434	619,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,064	26,800
短期借入金	235	290
未払金	11,756	9,562
未払法人税等	8,019	2,697
未払費用	8,038	14,022
返品調整引当金	486	419
賞与引当金	4,497	1,538
災害損失引当金	1,044	255
その他	717	955
流動負債合計	59,859	56,541
固定負債		
退職給付引当金	17,260	17,325
役員退職慰労引当金	1,464	1,459
繰延税金負債	476	456
その他	4,141	4,104
固定負債合計	23,343	23,345
負債合計	83,203	79,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,804	29,804
資本剰余金	14,935	14,935
利益剰余金	533,969	537,881
自己株式	△46,772	△46,835
株主資本合計	531,936	535,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,939	2,004
繰延ヘッジ損益	—	△150
為替換算調整勘定	△9,373	△8,676
その他の包括利益累計額合計	△7,434	△6,821
少数株主持分	10,728	10,733
純資産合計	535,231	539,696
負債純資産合計	618,434	619,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	64,557	64,265
売上原価	23,108	23,157
売上総利益	41,448	41,108
返品調整引当金戻入額	535	467
返品調整引当金繰入額	500	400
差引売上総利益	41,483	41,175
販売費及び一般管理費	29,560	30,324
営業利益	11,923	10,851
営業外収益		
受取利息	1,277	1,224
受取配当金	597	575
不動産賃貸料	8	14
その他	136	233
営業外収益合計	2,019	2,048
営業外費用		
支払利息	4	1
持分法による投資損失	943	137
為替差損	—	107
その他	65	95
営業外費用合計	1,013	340
経常利益	12,930	12,558
特別利益		
固定資産売却益	—	167
災害損失引当金戻入額	—	483
特別利益合計	—	650
特別損失		
固定資産処分損	6	37
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	13	37
税金等調整前四半期純利益	12,916	13,171
法人税等	4,823	4,938
少数株主損益調整前四半期純利益	8,092	8,233
少数株主利益	383	180
四半期純利益	7,708	8,052

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,092	8,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,170	174
繰延ヘッジ損益	—	△150
為替換算調整勘定	138	700
持分法適用会社に対する持分相当額	△191	△130
その他の包括利益合計	△2,223	594
四半期包括利益	5,869	8,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,513	8,664
少数株主に係る四半期包括利益	355	163

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	39,920	24,636	64,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	39,920	24,636	64,557
セグメント利益	9,378	2,545	11,923

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	39,853	24,412	64,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	39,853	24,412	64,265
セグメント利益	9,384	1,466	10,851

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。